

ニュースリリース



**国内水素ステーション建設事業に関する  
日鉄住金 P & E と米国エアプロダクツ社との覚書締結について**

日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社（代表取締役社長 小野原 一賀 東京都品川区 以下、日鉄住金 P & E）と米国エアプロダクツ社（CEO John E. Moglade 米国ペンシルバニア州アレントاون、ニューヨーク証券取引所銘柄：APD 以下、エアプロダクツ社）は、日本国内における水素ステーション建設事業に共同で取り組みを開始する旨の覚書を締結いたしました。

現在、我が国では水素を燃料とする燃料電池自動車（FCV）の普及に向けて、2015 年までに全国で 100 箇所、2025 年までに 1,000 箇所を超える水素ステーションの設置が計画されています。

両社は、今回の合意を機に日本国内において国内水素ステーション建設事業に参入し、今後の水素インフラ社会の発展に貢献してまいります。

エアプロダクツ社は、水素関連分野では 50 年以上にわたる歴史を持ち、米国を中心に世界 20 か国・160 箇所以上において水素ステーションの供給実績を誇る世界有数の水素供給企業であります。

一方、日鉄住金 P & E は新日鐵住金グループに属するエンジニアリング会社として、全国各地に展開する営業基盤と、パイプライン付帯設備及び LNG 関連設備等の建設を通じて培った豊富な技術力・ノウハウを保有しております。

日鉄住金 P & E が保有する営業力・技術力とエアプロダクツ社が米国をはじめとする世界各地において確立してきた技術力との相乗効果を発揮させることで、日本国内の FCV および水素インフラの発展に向けて、より魅力的な水素ステーションに関するご提案が可能になるものと考えております。

今回の覚書締結が、今後の水素社会の実現と両社の事業展開にとって価値ある第一歩になるものと確信しております。

**【本件に関するお問合せ先】**

日鉄住金P&E 営業本部 開発営業部	03-6865-6700
エアプロダクツジャパン	044-542-1531

### 【日鉄住金P & Eについて】

日鉄住金P & Eは、新日鐵住金(株)のセグメント会社である新日鐵住金エンジニアリング(株)の100%子会社として、各種パイプライン分野及び天然ガス・LNG等のエネルギー関連プラント分野においてエンジニアリング事業を展開しております。水素ステーションについては、2005年の愛知万博における建設実績を有しております。

日鉄住金P & Eは50年以上にわたって国内の主要な天然ガス・都市ガス輸送パイプラインの建設に携わるとともに、LNGサテライト設備や出荷・受入施設等のプラント類を提供しております。詳細につきましては<http://www.nspe.nssmc.com>をご覧ください。

### 【エアプロダクツ社について】

エアプロダクツ社は、工業ガス・特殊ガスなど各種ガス関連の機器設備、機能性材料、またこれらに関連する技術の提供を通じて、70年以上にわたってお客様の生産性・エネルギー効率、そして持続可能性の向上に貢献してまいりました。

また、トンプソン・ロイター社及びフォーブスマガジン誌によって「世界で最も革新的な企業」の一つに選ばれ、新興市場の開拓にも積極的に取り組んでおります。

現在、50か国以上において21,000人を超える従業員が、エネルギーや環境の切り口から効率的なソリューションを提供しております。更に、半導体・水素精製・石炭ガス化・天然ガス液化・高度塗装・接着剤など広範囲にわたって事業を展開しております。

2013年度には全世界で売上高102億ドルを計上いたしました。詳細につきましては[www.airproducts.com](http://www.airproducts.com)をご覧ください。

エアプロダクツ社の「SmartFuel®水素ステーション」は水素を70MPa(10,000psi)の高圧でFCVに充填することができ、SAE J2601に適合する同社の特許技術を採用しております。

エアプロダクツ社はモジュール化と拡張可能技術を組み入れた複数種類の「SmartFuel®水素ステーション」を取り揃えており、出願中のものも含め「液体水素ステーション」の先進技術に関する特許を世界各地で取得しております。水素ステーション技術に関する詳細は、[www.airproducts.com/h2energy](http://www.airproducts.com/h2energy)をご覧ください。

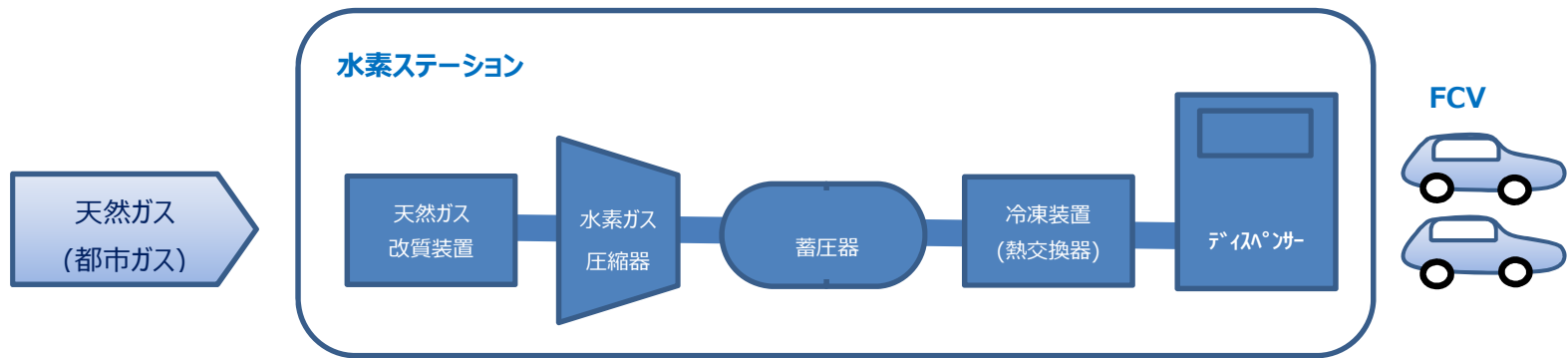
エアプロダクツ社は世界有数の水素供給企業として、クリーンな車両用燃料となる水素供給の分野で豊富な経験を蓄積してまいりました。これまでに供給してきた水素ステーションの中には年間7万5千回以上の充填を行っているものもあり、全ての水素ステーションの充填回数は年間85万回を超えています。

水素ステーションで使用する水素は、ローリーやパイプラインで輸送され、天然ガス改質、再生エネルギー利用(バイオマスガス化、太陽光や風力発電等による電気分解)によって製造されます。

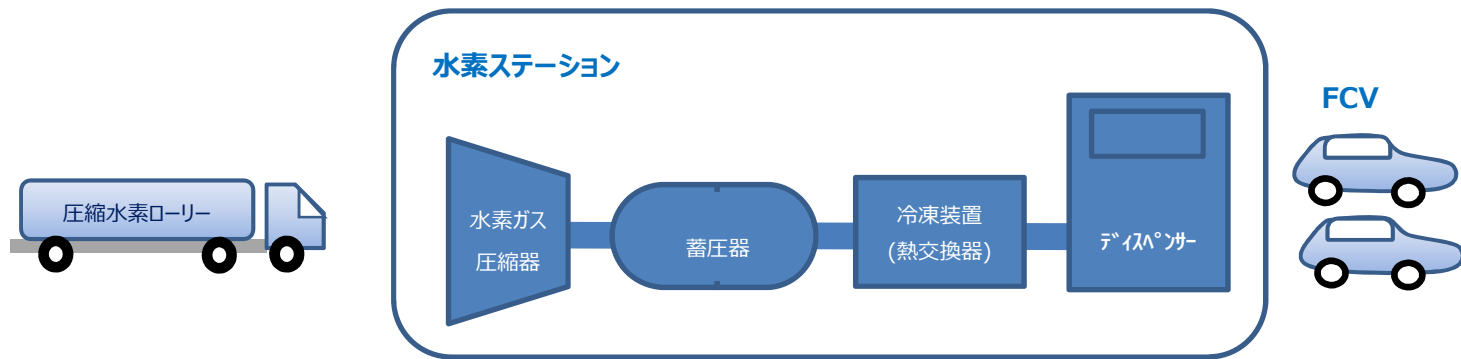
新たな時代を切り開くエアプロダクツ社の水素技術は、自動車・トラック・バン・バス・スクーターなどに留まらず、フォークリフト・機関車・飛行機・携帯電話基地局といった極めて広い分野において水素燃料を供給しております。

# 水素ステーションの概念図

オンサイト型（天然ガスを原料とした設備）



オフサイト型（圧縮水素ローリーにより水素を供給する設備）



## エアプロダクツ社 実績例

Country : United States America

Location : Allentown, PA

